

1

新聖歌324番 主と主の言葉に

1. 主と主の言葉に たよるはたのし
主はわが願いを ききいれたもう
ひたすらただ主に たよるわが身を
主よ主よ なおなお めぐませたまえ
2. きよくなしたもう 血潮とうとし
いま信じくぐらば きよめらるべし
ひたすらただ主に たよるわが身を
主よ主よ なおなお めぐませたまえ
4. ただ主にたよりて くらすはたのし
かなたのくにまで 導きたまわん
ひたすらただ主に たよるわが身を
主よ主よ なおなお めぐませたまえ

【主はみ座におられる】

主は み座におられる 聖なるお方
イエスの愛をうけて 賛美をささげよう
主の 臨在の中で 大なる勝利を
ほふられた小羊に ころから叫ぼう
主に ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
主に ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

主の 聖なる宮に 今われらは行こう
聖徒らと共に主の み前であがめよう

【主イエスをほめよ】

主イエスをほめよ 主イエスをほめよ
主イエスをほめよ その御業を
我を罪より 救いあがない
主イエスをほめよ その御業を

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。

不可能は 挑戦となり 可能となる！

1913年来日、救いを体験し、横浜で独立宣教師となる。のちに関西に拠点を移し、5000坪の土地を購入して生駒聖書学院を1929年に創立。第二次大戦中、宣教師追放によりアメリカへ。しかし戦後再来日して、1969年、78歳で天に凱旋するまで、宣教の働きに従事した。召される前の最後のひとは...

「前進！」



レオナード・W・クート 宣教師

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number:069 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

創世記15章1～6節

1 これらの事後、主の言葉が幻のうちにアブラムに臨んだ、「アブラムよ恐れてはならない、わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは、はなはだ大きいであろう」。

2 アブラムは言った、「主なる神よ、わたしには子がなく、わたしの家を継ぐ者はダマスコのエリエゼルであるのに、あなたはわたしに何をくださろうとしますか」。3 アブラムはまた言った、「あなたはわたしに子を賜わないので、わたしの家に生れたしもべが、あとつぎとなるでしょう」。4 この時、主の言葉が彼に臨んだ、「この者はあなたのあとつぎとなるべきではありません。あなたの身から出る者があとつぎとなるべきです」。5 そして主は彼を外に連れ出して言われた、「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい」。また彼に言われた、「あなたの子孫はあのようなになるでしょう」。6 アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。

ヨハネによる福音書11章38～43節

38 イエスはまた激しく感動して、墓にはいられた。それは洞穴であって、そこに石がはめてあった。39 イエスは言われた、「石を取りのけなさい」。死んだラザロの姉妹マルタが言った、「主よ、もう臭くなっております。四日もたっていますから」40 イエスは彼女に言われた、「もし信じるなら神の栄光を見るであろうと、あなたに言ったではないか」。41 人々は石を取りのけた。すると、イエスは目を天にむけて言われた、「父よ、わたしの願いをお聞き下さったことを感謝します。42 あなたがいつでもわたしの願いを聞きいれて下さることを、よく知っています。しかし、こう申しますのは、そばに立っている人々に、あなたがわたしをつかわされたことを、信じさせるためであります」。43 こう言いながら、大声で「ラザロよ、出てきなさい」と呼ばわれた。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

みことばの解説



あなたの栄光を示してください！

Show us Your Glory! 出エジプト33の18

創世記15章は、先に学んだ17章と合わせて、旧約聖書で最も重要な「アブラハム契約」です。「あとつぎ問題」で神様と口論するアブラハムを、神様は外に連れ出しました。

神様はご自身の御業をあらわされる時に、人を「外に連れ出し」ます。現実の世界から、神の領域に招かれるのです。天を仰ぐこと、神の領域に備えられている約束こそが私たちの信じるべきことです。

6節のことばは、聖書全体と貫く大切な真理です。アブラハムは「ただ信じました」。神様はそれで OK と仰って「義」と認めてくださいました。信仰義認はここから来ています。そしてアブラハムの(霊的にも)子孫である私たちも、信仰によって義と認められ、神の民に加えられるのです。

あなたはテントの中で、
目の前の天井を見ていませんか？

神様は「天を仰いで星を数える」ことを、願っておられます。私たちが信仰によって祈る祈りのリストは、天の星のように照り輝き、やがて地に届きます。三次元から四次元へ。それを模範的に見させてくださったのがイエス様です。

ヨハネ11章で、ラザロが死んで葬られてすでに4日が過ぎていました。人々は墓の前で嘆き、マルタは墓の中の遺体の腐敗と臭いにところが支配されていました。しかし、イエス様は「神の栄光」に目を向け、『目を天に向けて』祈られました。

不可能は挑戦となり可能となる！

これは、生駒聖書学院を創立されたイギリス人宣教師レオナード・W・ワート先生のことばです。その挑戦は、狭いテントから出て、天を仰ぐことなのだと言われます。